

3月23日、令和3年度3学期の終業式をしました。体育館への集合も次年度に向けて学年の配置や入場口を変えて実施。



2学期の終業式では上着を着用していない者も目立ちましたが、今回は集合状態も良く、整然として話を聞いてくれました。私からの話は、4月から民法の改正で成年年齢が18歳に引き下げられることで、新3年生は18歳の誕生日を迎えて以降、責任の重さが変わるという話と変えて

いくものと変えてはいけないものについて考えようという話をしました。すでに選挙権は18歳からとなっていますので、投票日翌日までに18歳をおかえる人は、投票に参加できるようになります。今年は4月に加東市長選挙、7月に参議院選挙、令和5年2月に小野市長選挙があり、それぞれ選挙権を得た人は政治に参加する機会を得ます。18歳に成年年齢が下がるということは、自分でいろいろなことを決めたり、申し込んだり、自立するということですが、実際には保護者に支援していただかなければ高校生活を全うすることはできません。しっかりと家庭内での相談、話合いをもち進路実現を図るだけでなく、自らの生活を考えて行かねばなりません。責任をとれるような考え方や準備ができるようになってほしいと思います。また、ウインドブレーカーの着用について生徒手帳にも記されているのは、「新型コロナ感染拡大の影響を受け教室の換気を頻繁にすることが求められ、教室の温度が下がることから認めたもの」で、「」内の説明部分が飛んでしまって伝わると、ウインドブレーカーを着用していれば良いという勝手な解釈になるため、正しく伝えていくことが大事だということを言いました。変えていくものには、面接や会議がリモートで行われるようになり、時代の流れとともに苦手だからと言ってそこに参加しないことはできなくなってきているので、そういった部分は合わせていかねばならないということです。今後新型コロナが終息したときにマスクの着用や会議、仕事のあり方がどう変わっていくのかは分かりませんが、その流れに乗っていくことで生活様式を変えていかねばならないことも出てくるためそういった部分は変えていかねばならないという話です。守っていくものと変えていくものをしっかりと見極めて理解を進めることが大事で、春季休業の間にしっかりと考え、次の学年のスタートを切れるよう準備をしてきてほしいという話で締めくくりました。山本生徒指導部長からは、もっと具体的に新入生の見本、手本となるために制服の着用、携帯電話の扱いなどしっかりと行ってほしいということとアルバイトや自転車の乗り方など生活に関わる話があり、とても理解しやすい話をしていましたので、しっかりと伝わったと思います。式が終わった後の退場の仕方も順序よく固まらないようにという指示を受け、特にこちらが促さなくても自分たちで感じて、考えて行動できていたように見えたので、この状態を続けて行ってほしいと思っています。よろしくお祈りします。

午後からは合格者招集がありました。第3学区で統一されており、本校では体育科、生活科学科、普通科と3学科が一堂に会しての説明会です。保護者にも来ていただき、説明会後の物品購入、入試の開示、事務手続きまで大変な日程だったと思います。中でも、タブレットの購入については、個人で申し込んでいただく必要があるなどまだまだご協力いただかねばならないことがあります。入学準備はなかなか大変ですが、わからないことは確認していただき、間違いの無いように進めていただければと思います。



24日には西脇高校の教育科学類型の成果発表会を見に行きました。英語での発表とポスターセッションでした。テーマが難しかったのですが、3年生まで引き続き研究するということでした。発表の仕方やテーマの設定の仕方など他校の発表を見ると参考になる部分も多いです。本校でも看護医療類型、体育科、生活科学科

と3科で発表していますが、普通科の探究の発表も加わり、外部に発信することも大事だと感じています。本校でも内容を濃くしてPRしていきましょう。またそのためには先生方の協力も必要となります。テーマの設定など、工夫が必要となりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。生徒の皆さんも頑張りましょう。

春季休業のスタートです。体調管理に気をつけて、実りある休業となることを祈っています。